

民主・菅政権に問われる大問題

ゆがんだ政治ただす

日本共産党

新首相に選出された菅直人氏。鳩山氏の辞任で「普天間」、「政治とカネ」の二つの重荷がとれた」と一件落着かのようにのべましたが、とんでもありません。民主・菅政権に問われる大問題、日本共産党はこう主張します。

普天間 “日米合意”撤回させ、無条件撤去を

鳩山政権は、普天間基地を沖縄県民どころか、県民に押しつけられます。日本の総意を踏みにじり県内に「移設」する合意を米国と交わしました。「合意」は無条件撤去させるため全力でがんばりま権に引き継がれ、「重荷」は取り除かれるす。

政治とカネ 鳩山・小沢氏の金権疑惑徹底究明

鳩山・小沢氏の献金疑惑。国民への説明責任は何も果たしていません。辞めればすむ問題でなく徹底究明が必要。本当に「クリーン」だと民主党がいいたいなら、少なくとも小沢氏を証人喚問に出させ真実を語らせるべきです。

雇用 派遣法を抜本改正し、「正社員が当たり前」に

財界の圧力に屈して、「抜本改正」のは、製造業派遣はどんな形でも禁止。「26約束をホゴに。いくつもの「抜け穴」をつ専門業務」を規制し、「雇用は正社員がくって、使いすて労働を温存。日本共産党 当たり前」へ派遣法を抜本改正します。

後期医療 1日も早い廃止へ力あわせ

「すぐに廃止」が公約だったのに、民主党政権は4年後に先送り。それどころか、差別医療に追い込む年齢を「65歳に引き下げる」とまでいい出しています。日本共産党は、1日も早い廃止へ力を合わせています。



4.25沖縄県民大会でガンバローをする日本共産党・志位和夫委員長、市田忠義書記局長(中央)ら

どう見る 鳩山氏 辞任

普天間 公約違反 政治とカネ...

国民の怒りが包囲

辞意を表明した鳩山首相(当時) = 6月2日、NHKテレビより

鳩山氏が首相を辞任しました。これは「普天間」、後期高齢者医療、労働者派遣法、「政治とカネ」など数々の問題で、公約違反を重ねて国民の怒りに包囲された結果です。

これらの問題は、民主党と民主党政権が共同の責任を負うべきものです。その反省がないまま首相を替えても国民の信頼は得られません。

転落 鳩山政権 そのわけは？

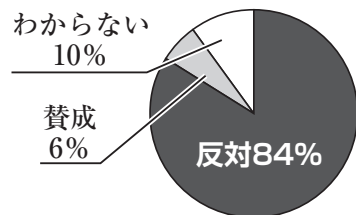
鳩山政権は、なぜここまで転落したのでしょうか。日本政治の「二つの異常」-アメリカいいなり、大企業中心の政治をたださず、「アメリカと財界にモノがいえない政治」を続けてきたからです。参議院選挙では、こうした政治の転換が強く求められています。

沖縄の心は

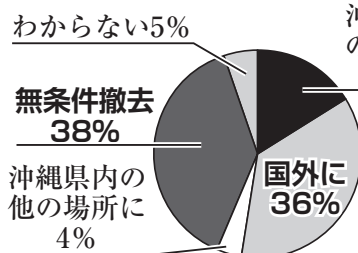
「無条件撤去」 「安保なくせ」

毎日新聞、琉球新報の沖縄県民世論調査 (5月31日付)より

◆ 普天間飛行場の 辺野古付近への移設



◆ 反対の理由は？



◆ 日米安保をどう考える？

